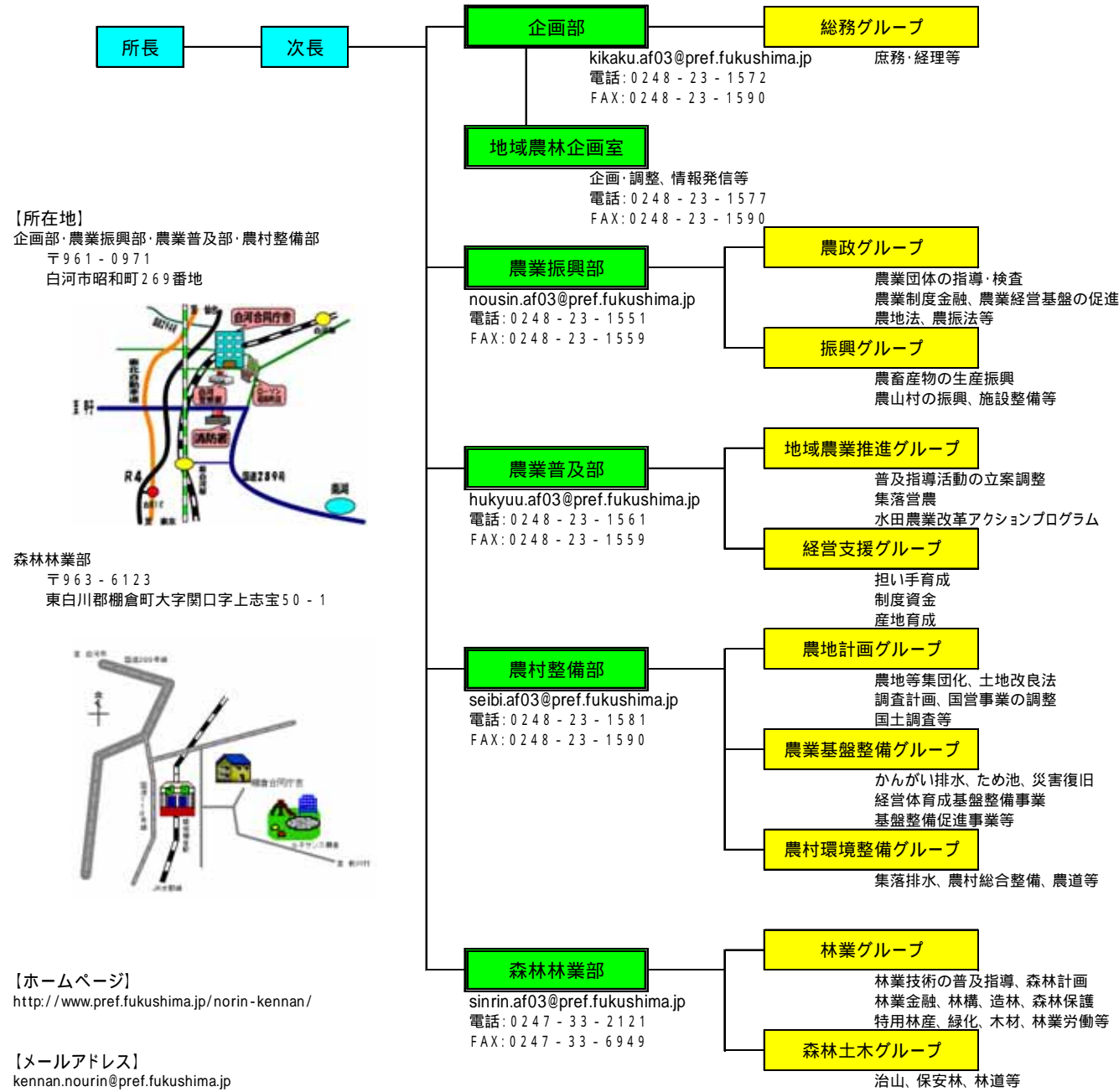


県南農林事務所組織体制図



県南地方の農林業

つくろう 住み良い農山村 活かそう農林業の力



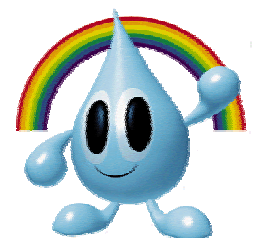
【表紙写真】

しいたけ植菌 棚倉町(社川小)	木とふれあう学舎事業 白河市表郷(表郷小)	農産物直売所 鮫川村(手まめ館)
経営体育成基盤整備事業 西郷村(熊倉地区)	江竜田の滝 鮫川村	豊かな食生活事業 矢祭町
たんぼの学校 白河市東(釜子小)	料理コンクール 西郷村(熊倉小)	治山ダム 埴町(入山地区)

水の妖精「みなもん」
源流の里である県南地方のキャラクターです

福島県県南農林事務所

平成18年4月



県南地方の概要

(1) 地勢

県南地方は、首都圏から東北圏への入口に当たる福島県の最南端に位置し、栃木県・茨城県に接し、白河市をはじめとする1市4町4村からなり、その面積は1,233.24k㎡(西白河郡612.30k㎡ 東白川郡620.94k㎡)で、県土の8.9%を占めています。

東部に阿武隈山系、西部に奥羽山系、南部に八溝山系があり、西白河地方のほぼ中央を北に向かって流れる阿武隈川と東白川地方の南部を南東に向かって流れる久慈川の流域に沿って平野部が開けています。

(2) 気候

県南地方の気候は、複雑な地形と山系の接近によって山岳気候の影響を強く受け、管内西部に位置する西白河地方では比較的冷涼で気温が低く、降雨量が多いのに対し、東南部の東白川地方は温暖で積雪は極めて少ない気候となっています。

なお、白河合同庁舎の標高は356.63mに位置しています。

(3) 人口

管内の人口は、平成17年10月1日現在、153,352人(48,424世帯)で、県人口の7.3%(世帯数で6.8%)を占めています。

このうち、西白河郡が75.6%(同73.1%)、東白川郡が24.4%(同26.9%)を占めています。国勢調査(H17)では、多くの市町村で人口減となる中で、西郷村(増加率4.6%)、白河市(同0.4%)で増加しています。



農業・農村・森林林業

(1) 就業者構造

管内の就業者総数(15歳以上)は78,648人で、産業別の内訳は、第1次産業が11.8%、第2次産業が42.0%、第3次産業が46.3%をそれぞれ占めています。

管内の第1次産業就業者の内訳を見ると、農業就業者が95.8%、林業就業者が4.0%水産業就業者が0.2%を占めています。(H12国勢調査)

(2) 農家数・林家数

管内の総世帯数のうち農家は21.1%、林家は2.6%を占めています。

農家の内訳を見ると、販売農家が83.5%、自給的農家が16.5%となっています。(H17農林業センサス)

(3) 耕地面積・森林面積

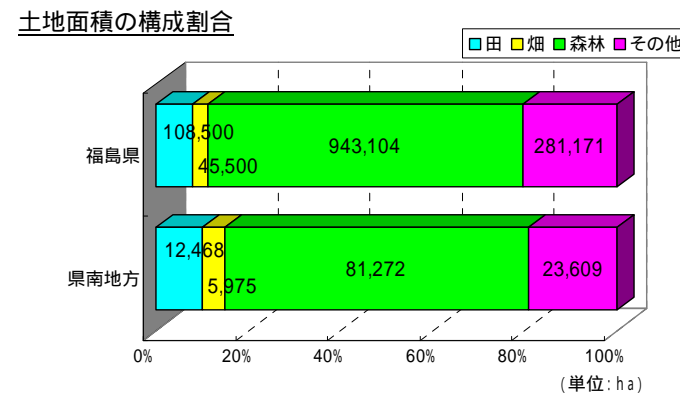
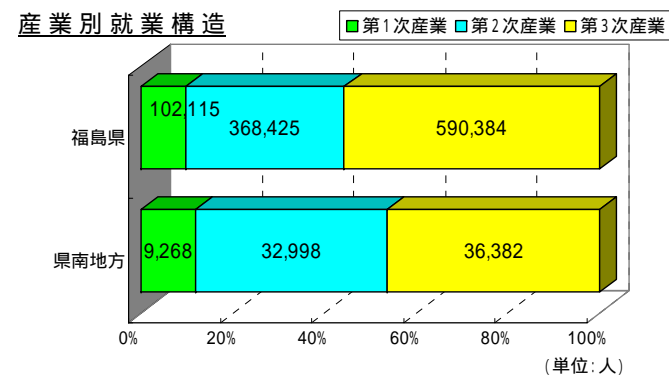
管内の土地面積のうち耕地面積は15.0%を占めています。

耕地面積のうち、田は67.6%、畑は32.4%をそれぞれ占めています。

経営耕地面積では、1.0~2.0haの規模が約30%、0.5~1.0haが約20%となっています。

民有林・国有林を合わせた森林面積は、管内土地面積の65.9%を占めています。

西白河地方では耕地面積の割合が約20%を占め、東白川地方では森林面積が約80%を占めており、土地面積の特徴を活かした産業が営まれています。



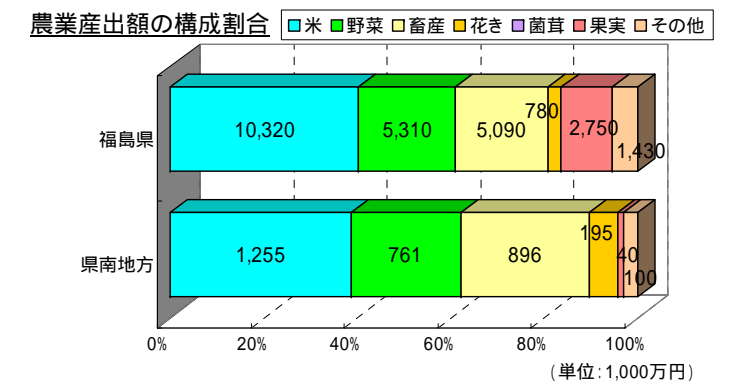
(4) 農業産出額

管内の平成16年の農業産出額は324億7千万円で、県全体の12.6%を占めています。(菌茸類を除く)

管内の農業産出額の内訳は最も多いのが米で125億5千万円で38.7%、次いで畜産の89億6千万円で27.6%、野菜の76億1千万円で23.4%、花きの19億5千万円で6.0%の順となっています。

農業産出額は、県全体の農業産出額が減少傾向にある中で、平成12年以降若干ではあるが増加推移を示していましたが、野菜、畜産の増加に比べ、米価の下落が大きかったため、前年より4億6千万円(菌茸類を除く、1.4%)減少しています。

農家1戸当たり所得の順位では、中島村(2位)、矢吹町(4位)、旧東村(6位)、泉崎村(7位)となっています。(H16農林水産統計年報)



(5) 農産物の生産状況

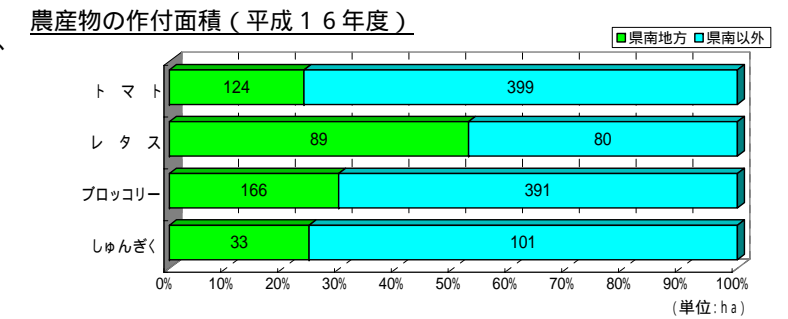
管内における主要農作物の生産は米をはじめ、トマト、レタス、ブロッコリー、しゅんぎくなどである。

平成16年の作付面積を県全体に占める割合で見ると米が12.3%、トマトが23.7%、レタスが52.7%、ブロッコリーが29.8%、しゅんぎくが24.6%となっています。

また、鮫川村(豚)、矢吹町(トマト)、西郷村(乳牛)、中島村(ブロッコリー)が、県内産出額の1位となっています。

管内の平成14年の素材生産量は116千m³であり、平成10年の57%となっています。

平成15年度の木炭・生しいたけの生産量は、木炭が249t、生しいたけが1,239tとなっており、木炭は鮫川村が、生しいたけは白河市が県内で1位の生産量となっています。(H16農林水産統計年報)



(6) ほ場整備の状況

管内の耕地面積のうち、田、畑を合わせたほ場整備率は54.9%(うち、田65.4%)です。

(7) 農業集落排水処理施設の整備状況

管内ではいち早く農業集落排水処理施設の整備に取り組み、公共下水等を含めた污水处理施設等の普及率は71.1%(うち、農集排23.1%)となっており、県平均の62.0%(うち、農集排5.6%)を上回っています。

(8) 林道の整備・保安林の指定状況

管内における平成15年度末の林道延長は373,983mで、林道密度は7.55m/haとなっており、県平均の林道密度7.04m/haを上回っています。中でも、東白川郡については10.49m/haと県内で最も高い林道密度となっており、素材生産に大きく貢献しています。

また、平成15年度末の保安林指定面積は3,858haで、昭和55年度末の保安林指定面積の169%にまで伸びており、安全・安心のできる暮らしの実現を図るため計画的な保安林の指定と保安林内の森林の維持造成さらには計画的な治山事業を実施しています。

